

平成30年度

事業報告

社会福祉法人 緑会



# 1 法人の行う事業（平成31年3月31日現在）

## (1) 第1種社会福祉事業

《施設の種類の種類》 特別養護老人ホーム  
(指定介護老人福祉施設)  
《名称》 介護老人福祉施設 千寿苑  
《施設長名》 森 光弘  
《利用定員》 98名

## (2) 第2種社会福祉事業

《施設の種類の種類》 老人短期入所事業  
(指定短期入所生活介護・指定介護予防短期入所生活介護)  
《名称》 介護老人福祉施設 千寿苑  
《施設長名》 森 光弘  
《利用定員》 2名

《施設の種類の種類》 老人デイサービス事業  
(指定通所介護・指定介護予防通所介護)  
(七尾市介護予防・日常生活支援総合事業 (国基準通所型サービス))  
《名称》 デイサービスセンター せんじゅ  
《施設長名》 森 光弘  
《利用定員》 25名

《施設の種類の種類》 老人デイサービス事業  
(指定通所介護・指定介護予防通所介護)  
(七尾市介護予防・日常生活支援総合事業 (国基準通所型サービス))  
《名称》 デイサービスセンター なでしこ  
《施設長名》 森 光弘  
《利用定員》 30名

《施設の種類の種類》 認知症対応型老人共同生活介護事業  
(指定認知症対応型共同生活介護・指定介護予防認知症対応型共同生活介護)  
《名称》 グループホーム やくしの里  
《管理者名》 中道 信夫  
《利用定員》 9名

《施設の種類の種類》 小規模多機能型居宅介護事業  
(指定小規模多機能型居宅介護・指定介護予防小規模多機能型居宅介護)  
《名称》 小規模多機能型居宅介護施設 たかしなの里  
《管理者名》 圓山 徹  
《利用定員》 25名 (内通いサービス15人、泊りサービス9人)

(3) 職員数(平成31年3月31日現在)

☆総職員数 113人 (男性 24人、女性 89人)

職員平均年齢 49.3歳 平均在職年数 7年7ヶ月

a. 入所・短期入所

総数 58人

(正職員38人、臨時職員8人、パートタイム職員12人、委託 若干名)

《内 訳》

施設長	1人(常勤兼務)	機能訓練指導員	1人(常勤)
副施設長	1人(常勤兼務)	管理栄養士	1人(常勤)
事務長	1人(常勤)	看護職員	5人(常勤4、パート1)
次長	1人(常勤)	介護職員	41人(常勤33、パート8)
事務員	1人(常勤)	医師	1人(嘱託)
生活相談員	2人(常勤)	調理員	若干名(委託)
介護支援専門員	1人(常勤)	宿直員	3人(パート)

※資格保有者数 : 看護師5人、介護福祉士30人、ホームヘルパー2級・介護初任者研修10人  
(重複所有あり) 介護支援専門員5人、社会福祉士1人、社会福祉主事任用5人

b. デイサービス

総数 32人(正職員15人、臨時職員7人、パートタイム職員9人、委託若干名)

《内 訳》

施設長	1人(常勤兼務)	生活相談員	3人(常勤2、兼務1)
事務員	1人(常勤)	看護職員	9人(常勤3、パート6)
作業療法士	1名(パート)	介護職員	17人(常勤15、パート2)
機能訓練指導員	2人(看護師兼務)	調理員	若干名(委託)
管理栄養士	1人(常勤)		

※資格保有者数 : 介護支援専門員7人、介護福祉士15人、ホームヘルパー2級・介護初任者研修4人  
(重複所有あり) 社会福祉主事任用5人、作業療法士1名、看護師2人、准看護師5人

c. グループホーム

総数 7人(正職員4人、臨時職員3人)

《内 訳》

管理者	1人(常勤兼務)	看護職員	1人(常勤)
計画作成担当者	1人(常勤兼務)	介護職員	6人(常勤・兼務含)

※資格保有者数 : 准看護師1人、介護支援専門員2人、介護福祉士3人、  
(重複所有あり) ホームヘルパー2級・介護職員初任者研修1人

d. 小規模多機能型居宅介護

総数 17人(正職員1人、臨時・嘱託職員9人、パートタイム職員5人)

《内 訳》

管理者	1人(常勤)	看護職員	4人(常勤2、パート2)
介護支援専門員	1人(常勤)	介護職員	11人(常勤7、パート4)

※資格保有者数 : 介護支援専門員2人、看護師1人、准看護師3人、介護福祉士2人  
(重複所有あり) ホームヘルパー2級・介護職員初任者研修8人

## 2 役員状況（平成31年3月31日現在）

(1) 定款上の定数

理事 6名以上10名以内 監事 2名 評議員 7名以上11名以内

(2) 役員名簿

(役職名)	(氏名)
理事(6人)	圓山 寛人(理事長)、圓山 恵子、森 光弘、八野田 実、坪内 明、生實 正
監事(2人)	登美 嘉能、浜浦 久男
評議員(7人)	小林 耕輝、山田 利久、清水 了、櫻井 定宗、堀岡 敏幸、堀 和彦 堀岡 俊子

## 3 理事会・評議員会

### 《 理 事 会 》

#### 第1回理事会

日 時	平成30年6月7日(木) 午後6時30分~午後7時50分
場 所	介護老人福祉施設千寿苑 会議室
出席者数	理事6人 監事2人
議 件	議案第1号 平成29年度事業報告 議案第2号 平成29年度収支決算報告及び平成29年度監査報告 議案第3号 平成30年補正予算(案)について 報告第1号 理事長の業務執行状況について 1 理事長が専決した事項等の報告 2 事業運営上生じた重要事項等の報告 3 その他 そ の 他

#### 第2回理事会

日 時	平成31年3月28日(木) 午後6時30分~午後7時50分
場 所	介護老人福祉施設千寿苑 会議室
出席者数	理事6人 監事1人
議 件	議案第1号 就業規則の一部改正(案)について 議案第2号 有期契約職員就業規則の一部改正(案)について 議案第3号 給与規程の一部改正(案)について 議案第4号 千寿苑運営規程の一部改正(案)について 議案第5号 千寿苑リフト付きワゴン車新規購入について 議案第6号 平成30年収支補正予算(案)について 議案第7号 平成31年度事業計画(案)について 議案第8号 平成31年度事業収支予算(案)について 報告第1号 理事長の業務執行状況について 1 平成30年度上半期事業報告並びに収支予算書執行状況報告 2 事業運営上生じた重要事項 そ の 他

## 《評議員会》

### 第1回評議員会

日 時	平成30年6月21日(木)	午後6時00分~午後7時10分
場 所	番伊会議室	
出席者数	評議員8人	監事1人 理事5人
議 件	議案第1号 平成29年度収支決算報告及び監査報告 そ の 他	

## 4 監査

### 平成29年度決算監査

日 時	平成30年5月31日(木)	午後2時00分~午後4時00分
場 所	千寿苑会議室	
出席者数	監事2人	
監査結果	(1)事業報告書は、関連する法令及び通知に従い、当会の事業の実行状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。 (2)財産目録は、関連する法令及び通知に従い、当会の財産を正しく示し、不整の点はないと認めます。 (3)貸借対照表は、関連する法令及び通知に従い、当会の資産と負債の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。 (4)収支計算書および事業活動計算書は、関連する法令及び通知に従い、当会の収入と支出の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。	

## 5 平成30年度法人運営の概要

### ① 介護報酬改定への対応

平成30年4月に介護報酬平均 +0.54%の改定が実施されました、改定の内容を精査すると、「地域包括ケアシステム」のさらなる推進を目指した加算項目が多くみられ、単位数は小さいながらも次回医療報酬・介護報酬同時改定時への布石と捉えられる取り組みを主導しているように思われます。

そこで、各加算項目を精査し、可能な限り加算を算定できるよう業務の見直し、新たな取り組みの導入、加算申請等を実施しました。

次年度は消費税増税を控え、事業経営への影響を勘案しながら進めてまいります。

### ② 地域における公益的な取り組みのさらなる推進

我々社会福祉法人には以前より「地域における公益的な取り組み」を実施することが求められています。

これまで当法人において通学路清掃や雪かき隊、徳田まつり・北大吞敬老会など様々な活動を実施してまいりました。

平成29年度からは社会福祉法人能登福祉会と協力して沢野・殿・岡・湯川地区の公共交通空白地に住居される方々へのデマンドバス運行を開始し、本年度も継続して実施しました。

本年度はさらに、地域住民が主体となって安心して暮らせるまちづくりを実現する一環として、徳田地区、北大吞地区、高階地区の「認知症カフェ」開催に向けての準備並びに開催支援を開始しました。徳田地区・北大吞地区の認知症カフェでは会場の提供、医療・介護の専門職員の派遣を行い、回を追うごとに多くの方に参加していただくことができました。

今後も地域に居住される方々の福祉の向上に寄与できるよう公益的な取り組みを継続していきます。

### ③ 多様な人材の確保と離職防止に向けた取り組み

介護施設における人材確保に関して、全国の施設が同じ悩みを抱えています。

当法人においても同様に人材確保に苦慮しており、より良いサービスの提供を行うためにも必要職員数の確保のための求人活動を行ってまいりました。

また、離職防止に向けた取り組みについても検討を重ね、次年度より給与等を含め、職員待遇の積極的な改正を実施します。

一方、外国人技能実習制度において、「介護」も制度対象となったことから、次年度には数名の受け入れを実現できるべく準備を進めてまいりました。外国人技能実習生が法人にとって重要な戦力となるよう受け入れ態勢や業務の見直し・変更を行わない、より良いサービス提供に繋げていきます。

## 6 年度別法人事業毎の利用者実績数

1 千寿苑(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)) ※平成24年3月21日より50名から80名へ増床、平成27年3月21日より80名から98名へ定員変更

	24年度	25年度	26年度	27年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用延べ人数	27,402人	26,844人	26,770人	32,966人	32,966人	30,550人	33,181人	30,421人
稼働率	93.8%	91.9%	91.1%	91.9%	92.2%	85.4%	92.8%	85.0%

2 千寿苑(短期入所生活介護(ショートステイ)) ※平成24年3月21日より10名から20名へ増床、平成27年3月21日より20名から2名へ定員変更

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用延べ人数	4,317人	5,929人	7,185人	5,645人	2,171人	2,496人	3,303人	3,562人
稼働率	115.1%	81.2%	98.4%	79.3%	296.6%	341.9%	452.5%	487.9%

3 せんじゅ(通所介護(デイサービス)) ※平成14年10月1日開設 平成30年4月1日より30名から25名へ定員変更

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
営業日数	307日	305日	308日	306日	309日	294日	294日	291日
利用延べ人数	10,428.5人	5,472人	6,636人	7,256人	7,902人	7,197人	6,480人	6,133人
稼働率	85.2%	69.1%	72.0%	79.0%	85.2%	80.6%	73.5%	84.3%

4 なでしこ(通所介護(デイサービス)) ※平成24年3月21日開設 定員20名、平成25年8月1日より20名から30名へ定員変更

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
営業日数	10日	305日	308日	306日	309日	297日	307日	305日
利用延べ人数	143人	5,657人	6,723人	6,665人	7,301人	6,936人	7,356人	7,364人
稼働率	71.5%	69.3%	72.7%	72.6%	78.8%	77.4%	79.9%	80.5%

5 やくしの里(認知症対応型共同生活介護(グループホーム)) ※平成19年4月1日開設 定員9名

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用延べ人数	3,245人	3,279人	3,254人	3,132人	3,274人	3,265人	3,242人	3,243人
稼働率	98.5%	99.8%	99.0%	95.3%	99.4%	99.4%	98.7%	98.7%

6 たかしなの里(小規模多機能型居宅介護施設) ※平成25年7月1日開設 登録定員25名

			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
月平均登録者数			11.8人	17.3人	22.5人	21.7人	23.2人	22.8人
登録率			47.2%	69.2%	90.0%	86.7%	92.7%	91.2%

## 7 地域貢献活動

※基本理念の下、地域に貢献できる法人として、以下のさまざまな取り組みを行っております。

### ☆地域行事への参加

【徳田まつり出店】平成30年10月8日

- ・えんやまグループとして救護所、「医療・保健・福祉」等の相談コーナーの開設とともに、バイタルサイン測定などの健康チェックと栄養相談を実施

【南大呑まつり出店】平成30年9月24日

- ・やくしの里として、模擬店（わたがし・ポップコーン）を出店

### ☆地域交流活動

【認知症カフェへの支援】とくだカフェ：平成30年10月より原則第3水曜日に開催

北大呑カフェ：平成30年6月より原則第2水曜日に開催

※ 送迎支援、会場提供(地域交流ホール)、専門職派遣等を実施

【カフェサロン国分との交流】隔月第1土曜日、国分町集会場へ職員を派遣

【グループデイ交流会】 徳田地区で開催している国分町、若林町の各グループデイと入所・デイサービス利用者職員ともに相互に訪問し交流会を開催する

【地域の保育所との交流】 デイサービスセンターなでしこであさひ保育園児との交流会を開催

【第16回千寿苑夏祭り開催】7月27日(木)午後6時30分より地域交流ホールを主会場に開催

### ☆ボランティア活動

【社福バス運行】 沢野・殿・岡・湯川地区を対象に毎週火曜日に事前予約制で運行

※ 運行実績；11回（延べ22人利用）

【雪かき隊活動】 除雪予定先軒数： 8軒（実稼働日数；0日間・延べ除雪軒数；0件）

【活動の受入】 ・個人活動、団体活動・企業研修先として年間を通して受入を実施

【収集・寄贈活動】 ・使用済切手収集：事務所内に専用箱を設置し回収。

・アルミ缶：施設内に専用回収箱を設置

・ベルマークを収集し認定こども園ひまわりへ、古着回収をみのり園へ寄贈

### ☆清掃活動

【清掃活動】

徳田コミュニティセンター及び徳田地区まちづくり委員会への協力

・八幡交差点一本松公園及び地下道周辺の草刈り、清掃

実施日：平成30年9月21日（木）13：30～15：00

参加人数：職員 8人

【朝日小通学路清掃活動】 平成30年5月3日(日)午前7時から 参加職員； 27人

### ☆実習・見学・その他

【実習受入】 ・年間を通して高等学校福祉系学科や教員免許取得の為の介護体験受入

【施設見学】 ・企業研修や看護学校等の知識向上を目的とした見学に随時対応を行う

【施設開放】 ・各種職能団体の研修会場として地域交流ホールを提供



## 8 各事業の報告

### I 千寿苑（入所・短期入所）

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (看護・介護)

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
① 生活に張りもち、楽しみのある日々を送ることができる様に支援する	○生活の中で楽しみを持てるよう関わる ・レクリエーション時の軽体操、筋力アップ&ストレッチ（スマイル体操）を行う。 ・干し柿作り ・クリスマス会など  ・相談員と連携し、希望の外出支援  ・軽作業を提供することができる対象者を増やし、役割をもっといただく。	C	・日曜日のレクリエーション時に軽体操&スマイル体操を行っている。 ・毎月の行事の際、利用者の生き生きとした表情が見られた。  ・自宅訪問、墓参り、買い物などの外出支援  ・利用者さんから職員に声をかけられ、積極的に作業される利用者もいた。	・レクリエーションの中で運動し、利用者さんの筋力アップを図れるように継続していきたい。 ・今後も、楽しみをもっといただけるような行事を開催していく。
② 日常生活の中で身体を動かす機会を増やし、利用者の現在できていることを継続できるように関わる	○排泄支援を行い、快適に過ごしていただく ・利用者の状態に合わせた排泄支援を行う	B	・身体状況が維持出来ず、トイレ誘導が難しくなっている場合が多い。	・排泄意のある方への援助は継続。また、他職種と連携しながら排泄支援が可能かどうか検討し、取り組んでいきたい。
③ 日常生活の中で、食事や運動などを意識し、筋力を増やせるよう努力する。	○筋肉を少しでも増やせるように意識し、習慣化する。 ・カロリーを摂りすぎないように注意しながら、たんぱく質の多い食事を摂る ・業務開始前や休憩時などの時間に腰痛予防体操をしっかり行う事で腰痛を予防する。 ・物を運搬する時以外な階段を使用する。 ・運動をする機会を増やし、楽しみながら筋肉を増やす。	C	・筋肉を増やす食事や運動についての勉強会を行った。 個人の認識に任せていた為、出来ていたかどうかまでは確認できていない。	・利用者の移乗時やオムツ交換時など、腰痛を訴える職員もいる事から、今年度は出勤時や休憩後など、職員同士で声掛けして一緒に行い、チェック表に記入していく。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (相談・支援 1)

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>(1) 日常生活の中で楽しみながら入居者様の筋力を増やす。</p> <p>入居者様が苑生活の中で身体を動かす機会を増やし、心身ともに元気に過ごしていただけるよう支援する。</p>	<p>①施設サービス計画書のサービス内容に外出支援を盛り込み、多職種で外出できる環境を整えて、入居者様の地元の祭りへの参加や、希望された買い物への支援、墓参りなどの外出援助を行う。</p> <p>計画書件数 2階…12件 3階…2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出支援件数 2階…7人 (22回) 3階…1人 (1回)</li> <li>・ご家族の付き添いによる外出 2階…5人 (14回) 3階…5人 (5回)</li> </ul> <p>②施設サービス計画書に軽作業の実施を入れ、軽作業を行う機会を設ける。</p> <p>計画書件数 2階…9件 3階…11件</p> <p>③体操の冊子(スマイル体操)を作成し、軽体操を実施する。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して合計8人23回の外出支援を行った。外出に参加されたご利用者様は、活き活きとしており、生活の質を高める事ができたのではないかと感じる。</li> <li>・タオル畳みやエプロン畳み等を自分の役割として、ほぼ毎日楽しみながら行っていた。</li> <li>・上半期は、体操の周知が進まなかったが、下半期からは各階共にほぼ毎日レクリエーション前に、スマイル体操を行っていた。スマイル体操の実施により、筋力維持の一助になっていると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一利用者様の外出回数が多かったこと、3階利用者様の外出に関するニーズの把握不足が課題となった。外出に関する意向を入居者様・家族様にお聞きしながら、今後の外出支援に繋げていきたい。</li> <li>・随時対象者を増やし、自分の役割を感じながら、身体を動かす機会を設けていきたい。</li> <li>・スマイル体操の定着化に向けて引き続き体操を行ってきたい。</li> </ul>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (相談・支援 2)

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>(2) 地域との関わりをもちながら地域の健康寿命を延ばす。</p> <p>カフェサロン国分及び近隣の公民館等に出向き、地域住民を対象に介護予防の方法や大切さを伝えていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェサロン国分への参加 4/7(土) 「機能訓練指導員による出前講座」 【参加住民 14名 参加職員 4名】</li> <li>・カフェサロン国分への参加 6/2(土) 「楽しく体を動かそう」 【参加住民 17名 参加職員 4名】</li> <li>・八幡町の健老会への出前講座 9/25(火) 「認知症についてと、タオル体操」 【参加住民 24名 参加職員 2名】</li> <li>・カフェサロン国分へ参加 10/6(土) 「脳のトレーニング」 【参加住民 17名 参加職員 1名】</li> <li>・カフェサロン国分へ参加 12/1(土) 「健康寿命を延ばそう」 【参加住民 13名 参加職員 4名】</li> <li>・カフェサロン国分へ参加 2/2(土) 「デイサービスで行うレクリエーション」 【参加住民 19名 参加職員 4名】</li> <li>・千野町の健老会への出前講座 3/8(金) 「おいしく楽しく食事する！ それが元気のコツ！」 【参加住民 15名 参加職員 3名】</li> <li>・飯川町の健老会への出前講座 3/25(月) 「認知症についてと、タオル体操」 【参加住民 33名 参加職員 1名】</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の健康寿命を延ばす目的で依頼があったサロンへの出前講座の実施、さらに地域の健老会との接触により講座をもつことができた。地域住民はいろいろな媒体から介護や健康に関する知識を持たれていたが、直接言葉を交わし、補足説明していくことで、その知識に関して理解をより深めて頂けたように感じる。</li> <li>・地域へ出向くことで、普段関わりを持たない方と交流することができ、職員にとって良い刺激になった。また出前講座を行うことで、職員自身の知識を深めることができ、今後の依頼を受ける際の手順確立、講座内容も幅が増えたと思う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">延べ参加住民 152名 延べ参加職員 23名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域において（認知症）カフェサロンも徐々に増えており、地域住民の健康への関心は高まっている。今後もそういった活動への参加、援助を通じて地域との関わりを続けていければと思う。</li> <li>・活動していく中で問題となる点は、講座内容と人員の確保が課題であった。講座内容はいろいろな職種に関わっていただくことで解決できたが、人員に関しては調整が難しく、一部に負担が集中してしまうことが多くみられた。</li> </ul>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (相談・支援 3)

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>(3) 風通しのよい職場環境をつくり、施設全体の力をつける。</p> <p>サークル活動の発足と活動を通して職員間の交流を深める。</p>	<p>・「サークル活動開始に向けてのアンケート」結果をもとに6月より実施。 活動頻度：月2回 活動時間：17:50～18:30</p> <p>○ウォーキング 6/29(金)…雨天中止 7/12(金)…参加者4名</p> <p>○エアロビクス 8/10(金)…参加者11名 8/24(金)…参加者10名</p> <p>○バドミントン 9/12(水)…参加者8名 9/28(金)…参加者11名(子供3名)</p> <p>○風船バレー 10/19(木)…参加者3名 10/25(金)…参加者7名(子供2名)</p> <p>○ドッジボール 11/16(金)…参加者3名(子供2名) 11/30(金)…中止</p> <p>○エアロビクス 12/14(金)…参加者3名</p> <p>※1月～3月は活動休止</p>	C	<p>・全職員を対象にアンケート調査を実地(3～4月)</p> <p>○運動不足だと感じている はい…90.4% いいえ…9.6%</p> <p>○サークル活動があれば参加したいですか はい…54.5% いいえ…45.5%</p> <p>○活動頻度 月1～月2回…76.8% 週1回…21.4%</p> <p>○参加しやすい曜日 水・木・金…58.3% 月・火…30.0% 土・日…11.7%</p> <p>○希望活動内容 エアロビクス、ウォーキング バドミントン、ヨガ体操 ソフトバレー、縄跳び等</p>	<p>・勤務終了後の活動(運動)は体力的に厳しいという声もあったが、参加者からは運動後の食事が美味しく感じたという声や、気持ちよく汗をあくことができたという声も聞かれた。</p> <p>・入所職員と通所職員との交流を深めるよい機会になればと考えていたが、特に入所職員の勤務体系や限定された活動時間帯を考えると、参加できる職員も限られており活動そのものが難しく、特に1月から2月にかけては、インフルエンザの流行時期とも重なり活動することができなかった。</p>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (機能訓練)

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
利用者が正しい姿勢で過ごしていただく為の知識と技術の習得と指導。 臥位時の体交クッションの確保。	身体拘束廃止委員会と協力して勉強会を実施して、座位や臥位姿勢・動作介助の良し悪しで利用者 に 及ぼす影響を入所職員に提唱した。 利用者個別の体交クッションの当て方の指導。	C	勉強会を計 3 回開催したが、職員の理解度が、5 割程度かと思われる。基本的な事は理解してもらっているが、基本を怠ることにより、長期的に利用者の能力低下につながる可能性が高いということを知ってもらいたかったが、そこまで理解してもらえなかった。	引き続き姿勢介助の取り組みへの周知徹底をしていきたい。
地域の介助者の高齢化が進んでおり、介護に必要な体力と技術の向上を図る。	地域ボランティアとして身体能力向上を目的とした筋力強化と高齢者の起居動作・移乗動作の介助方法の指導。	A	介護予防活動において大吞地区は 2 ヶ月に 1 回、徳田地区は 1 ヶ月に 1 回実施できた。簡単な体操から始めて行ったが、利用者からは「良かった。」「楽になった。」等の声が聞けた。	限られた時間内で、効率よく筋力増強ができるように創意工夫をしていきたい。
食事介助の勉強会の実施。	恵寿病院所属言語聴覚士を招いての誤嚥性肺炎を予防する為の食事介助方法の勉強会の実施。	C	勉強会の実施は出来ていないが、カンファレンス等で、他職種から相談等を受けて、かかわりを持つ職員たちで話し合い、利用者個別の食事姿勢や介助方法等の話し合いが持てた。	立って食事介助する等、食事介助方法にまだまだ問題点がある。 忙しい、早く食べさせないといけない等からしている事と思われるが、誰のために介助しているかを理解してもらえるような場を管理栄養士と相談して機会を作っていきたい。

※評価について ⇒自己採点方式 (100 点満点で評価 : A100 点~90 点、B89 点~75 点、C74 点~60 点、D60 点以下)

## 平成 30 年度 入退所状況

### 【入所】

入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	5
女性	1	3	1	2	0	0	1	2	2	0	0	1	13
合計	2	3	1	2	0	1	1	3	2	0	1	2	18

【入所前所在地】 在宅： 13人 医療機関： 2人 その他施設： 3人

### 【退所】

退所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5
女性	4	0	0	1	2	1	1	1	3	0	1	0	15
合計	4	1	2	1	3	1	1	1	3	1	1	1	20

【平均年齢】 91.7歳（78歳～107歳）  
 【退所理由】 逝去：16人 長期入院：4人 その他：0人(介護度非該当による)  
 【平均在籍日数】 2年7ヶ月（最長11年0ヶ月、最短0年1ヶ月）

## 平成 31 年 3 月 31 日現在 入所利用申込状況

	自宅	病院	老人保健 施設	グループホーム	その他 施設	その他	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	18	9	2	7	4	0	40
要介護4	13	15	4	0	2	0	34
要介護5	9	9	2	1	1	0	22
合計	40	33	8	8	7	0	96

【性別】 男性； 34人、女性 62人  
 【平均待ち期間】 1年11カ月（最長；12年6カ月、最短；0年1カ月）

平成 30 年度 千寿苑内部研修実績

日 付	研 修 名	実施場所	参加者数
4/10	身体拘束・虐待について	2階ダイルーム	22
5./8	看取り介護について	〃	22
5/18	腰痛知らずになろう	地域交流ホール	15
5/30.31	虐待から見えてくること	〃	80
6/12	食中毒予防について	2階ダイルーム	18
7/24	高齢者の「誤嚥・窒息」に対する注意点	地域交流ホール	
8/10	褥瘡について	2階ダイルーム	14
10/9	養介護施設従事者等による虐待防止について	2階ダイルーム	5
10/22.23	適切な介助を目指して・車いす編	地域交流ホール	68
10/30	手指衛生	ダイサービスフロアー	59
11/9	人の体について	地域交流ホール	
11/13.15	誤嚥から心肺蘇生について	〃	32
12/11	人権とは	1階会議室	15
1/8	認知症を理解しよう	2階ダイルーム	12
1/21.22	安楽な介助を目指して・ベッド編	地域交流ホール	42
2/20	災害発生時の避難所・福祉避難所について	〃	
3/	危険予知	2階3階ダイルーム	17
3/12	メンタルヘルスについて	2階ダイルーム	15

## 平成 30 年度ボランティア受入活動実績報告

活動日	ボランティア名 (団体・個人)	活動場所	活動内容	備 考
4/19	府中町若衆 様	デイルーム	木遣り披露	
5/26	日本語講座グループ 様	地域交流ホール	琴演奏	
6/8	認定こども園ひまわり 様	デイルーム	遊戯披露	
6/14	堤 時子 様(1回/2ヶ月)	2階	環境整備/レク補助	
6/14	黒川 紘子 様(1回/2ヶ月)	2階	環境整備/レク補助	
6/20	和倉大正琴教室コスモス 様	地域交流ホール	大正琴演奏/歌謡	
7/10	徳田民話の会 様	地域交流ホール	紙芝居 民話	
7/25	輝関 様	地域交流ホール		
7/26	八幡町婦人部 様	地域交流ホール	盆踊り	
7/26	千野町女性部 様	千寿苑前広場	屋台運営	
7/26	七宝雛 様	地域交流ホール	よさこい	
7/26	西湊鬼楽太鼓 様	地域交流ホール	和太鼓	
7/26	七尾看護専門学校 様	地域交流ホール	入居者付き添い援助	
7/26	田鶴浜高等学校 様	地域交流ホール	入居者付き添い援助	
7/26	国際医療福祉専門学校 様	千寿苑前広場	屋台運営	
7/26	千寿苑家族会 様	千寿苑前広場	屋台運営	
7/26	渚建設 様	千寿苑前広場	屋台運営	
7/26	山本 宰士 様	千寿苑前広場	屋台運営	
8/4	青山バレイダンススタジオ様	地域交流ホール	バレエ披露	
10/6	千野町獅子舞 様	地域交流ホール	獅子舞披露	
10/13	八幡町獅子舞 様	地域交流ホール	獅子舞披露	
10/27	田鶴浜高校手話部 様	デイルーム	手話を交えた踊り披露	
12/7	華翔会 様	地域交流ホール	舞踊披露	
12/13	七尾特別支援学校 様	デイルーム	歌・踊り披露	
1/19	たんぼぼの会	デイルーム	民謡披露	
1/29	林 ゆかり 様 (2日/週)	2階	環境整備	

## 平成 30 年度年間行事等事業実施報告

月	事業(行事)	地域交流	見学
4月	9日(月)花見ドライブ 14日(土)第1回家族会役員会 25日(水)クッキング(桜餅)	7日(土)カフェサロン国分	
5月	2日(水)花嫁のれん展見学 12日(土)家族会総会 26日(土)朝日小学校運動会観覧 30日(水)クッキング (苺ミルク寒天)	12日(土)小学校通学路の清掃	3件
6月	27日(水)家族旅行 (穴水町能登大仏見物)	2日(土)カフェサロン国分	2件
7月	7日(土)第2回家族会役員会 20日(金)100歳お祝い行事(2名) 21日(土)移動ショッピング 25日(水)輝関慰問 26日(木)第16回千寿苑夏祭り		
8月			
9月	21日(金)海ドライブ 26日(水)クッキング(おはぎ)	13日(木)一本松公園除草作業 25日(水)八幡町健老会	
10月	6日(土)千野町獅子舞 13日(土)八幡町獅子舞 20日(土)移動ショッピング 27日(土)敬老会	6日(土)カフェサロン国分 7日(日)徳田まつり	3件
11月	6日(火)干し柿作り(22日実食)		
12月	22日(土)クリスマス会	1日(土)カフェサロン国分	
1月	初旬 正月遊び、初詣(苑内)		2件
2月	8日(金)節分レクリエーション 9日(土)移動ショッピング	2日(土)カフェサロン国分	
3月	初旬 ひな祭りレクリエーション	8日(金)千野町健老会	
その他	各階での家庭菜園作り	ベルマーク寄贈	

## II 栄 養 課

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

No. 1

部署 千寿苑栄養課 1

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p><b>食事の全量摂取を目指す。</b>  <b>●</b> 食事に関する課題を解決し、負担なく、全量摂取できるようサポートする。必要栄養量の確保を目指し、フレイル予防の第一歩へ。</p> <p>① 食べられない原因や食事を提供できない原因を探る。                  ② 個人にあった食事の提供。                  ③ 多職種とのモニタリングの充実。</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養ケアプロセスに基づく栄養アセスメントの実践（栄養状態の判定）と書式整理。</li> <li>・ ミールラウンドの反復と、多職種との意見交換の重視。</li> <li>・ 研修会への参加継続。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 摂食嚥下困難や摂取不良の方への個人対応の継続（給食管理との連携）。</li> <li>・ 給食管理の調整（食形態の調整、主食量の変更、栄養価の見直し、増粘剤の見直しなど）。</li> <li>・ 買い物個別支援（希望者）。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設及び変更加算の取組み。                      経口維持加算 9月より算定【入所】。                      （対象者：2階のべ18名、3階のべ35名）</li> <li>・ 再入所時栄養連携加算算定【入所】。                      （対象者：7月1名、11月1名、12月1名）</li> <li>・ 栄養改善加算の再開【通所】。（新規の対象者：2名）</li> <li>・ 担当者会議の参加や入院利用者の状態確認訪問開始。</li> <li>・ 「やくしの里」のスクリーニング加算算定に向けての準備開始。</li> <li>・ 「ケアマネージャー向け事業所見学会」の携わり                      （12/26 6名参加）。</li> </ul>	<p>A</p>	<p>★モニタリングと多職種による意見交換を大切にし、各人の栄養課題を明確にした。アセスメントを重ねることで、個人対応の充実が図れるようになってきた。</p> <p>★新規加算について、ようやく算定に至った。</p> <p>★苑内はもちろんのこと、苑外とも連携を図るため、担当者会議や状態確認の訪問などに同行させていただいている。また「ケアマネージャー向け事業所見学会」において、当苑での取り組み（食事内容の説明と試食・栄養改善計画の流れ・管理栄養士の理念など）を発信することができた。これらは、早急かつ円滑に栄養管理をおこなうことを目標としている。</p> <p>★利用者への直接食支援として、給食管理（厨房）と連携しながら、食事提供をしている。</p>	<p>・ 緊急時及び自然災害時の食料備蓄の管理。</p> <p>・ 「嗜好や食事に関するアンケート」の活用。</p>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

No. 2

部署 千寿苑栄養課

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>食事の全量摂取を目指す。            ●食事にに関する課題を解決し、負担なく、全量摂取できるようサポートする。必要栄養量の確保を目指し、フレイル予防の第一歩へ。            ④ 行事食、イベント食の充実。</p>	<p>④            ・ご家族へ「嗜好や食事に関するアンケート」を実施。            ・栄養課発信の行事食(百寿お祝い膳など)。            ・苑菜園収穫野菜の使用。            ・地域貢献活動への参加(カフェサロン国分、徳田まつり、認知症カフェなど)。</p>			

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

## 平成30年度 行事食報告書②

表記説明：千→千寿苑・ショート含む。

㊦→デイサービスせんじゅ、

㊧→デイサービスなでしこ

月	日	行事	食事・おやつ内容	クッキング
4月	9～14日	お花見おやつ週間	おやつ：いちごプリン、桜わらび餅、抹茶ケーキ、いちご、春の和菓子、桜ゼリーなど	<千/25日> 桜もち
	12日	季節の食事	昼食：お花見弁当 (桜えびご飯、青じそオイル焼き他)	<㊦/20・21日>
	誕生者 利用時 随時	通所誕生会 季節の食材アレンジ	㊦㊧/おやつ：ケーキ(誕生者のみ) 菜の花パスタ、菜の花の柚子胡椒和えなど	<㊧/11・12日> 桜もち
5月	誕生者 利用時	通所誕生会	昼食：うな井他 おやつ：アイス風デザート おやつ：柏餅 昼食：筍ご飯、キスの天ぷら、茶わん蒸し他 おやつ：手作りわらび餅	<千/30日> いちごミルク寒天
	随時	親しみある献立	乳酸菌やオリゴ糖食品の使用、食物繊維の調整 主食盛り量変更 摂取区分の調整(区分3 フライムース使用へ) ㊦㊧/おやつ：セルクルケーキ(誕生者のみ) えびす、いしる仕立ての煮物や汁、黒豆ご飯他	<㊦/14・15日> <㊧/10・11日> 苺のレアチーズ モンブラン
6月	6日	イベント食	昼食：彩り野菜豚炒めご飯(温泉卵のせ)、 チンゲン菜のスープ、ゴールドキウイ他	<㊦/14・15日>
	25日	季節のお菓子	おやつ：手作りあじさいプリン おやつ：よもぎ団子	<㊧/12・13日> よもぎ団子
	誕生者 利用時	通所誕生会	㊦㊧/おやつ：セルクルケーキ(誕生者のみ)	
7月	3日	収穫野菜の活用(玉レタス、サニーレタス)	玉レタス(清汁に使用)、 サニーレタス(サラダに使用)	<㊦/9・10日> <㊧/11・12日> 抹茶水ようかん
	7日	七夕	昼食：枝豆ご飯、鯖の照り焼き、そうめん汁他 おやつ：スイカまたは七夕ゼリーのセレクト	
	20日	百寿祝い・土用の日	昼食：うなぎ御膳(ピーマンお浸し、スイカなど) おやつ：土用餅	
	26日	夏祭り	屋台(おこのみ焼き、メンチカツ、カットすいか他)	
	誕生者 利用時 随時	通所誕生会 地元野菜の活用	㊦㊧/おやつ：セルクルケーキ(誕生者のみ)  ピーマン、トマト、じゃがいも他	

月	日	行事	食事・おやつ内容	クッキング
8月	15日	お盆	おやつ：季節の和菓子	<㊤/9・10日>
	24日	通所お涼み会 誕生者 通所誕生会	㊤㊦/おやつ：くずきり ㊤㊦/おやつ：セルクルケーキ（誕生者のみ） さっぱり炒め、冷たい果物（スイカやいちじくなど）、 冷たい麺類、酢の物（金糸瓜やみょうがなど）、 冷たいお菓子（アイスやゼリーなど）、漬物他	<㊦/20・21日> 抹茶白玉あんみつ
9月	12日	㊤敬老会	㊤/おやつ：季節の和菓子	<千/26日> おはぎ
	15日	敬老イベント	昼食：赤飯、南蛮漬け、秋の実りみそ汁、りんご おやつ：季節の和菓子	
	23日	季節の食事	昼食：きのこご飯、さんま塩焼き、茶わん蒸し、 ブロッコリーの和え物、梨 おやつ：プルーンのワイン煮 ㊤㊦/おやつ：セルクルケーキ（誕生者のみ）	<㊤/21・22日> <㊦/27・28日> おはぎ
10月	5日～ 21～27日	新米へ 季節の食事 (秋の味覚食材使用) 百寿の祝い	中能登町産のコシヒカリ新米へ 豆腐のきのこあんかけ、きのこのキッシュ、柿なます、栗と小豆のパウンドケーキ、焼き栗ロール 他	<㊤/15・16日> <㊦/18・19日> さつま芋もち
	23日	敬老会	昼食：炊き込みご飯、ぶりの生姜照り焼き、 柿なます、小細工麩の清汁他	
	27日	通所誕生会	千/おやつ：家族会より和菓子のご提供あり ㊤㊦/おやつ：セルクルケーキ（誕生者のみ） さつま芋サラダ、さつま芋ご飯、みそ汁の具、 (さつま芋) 煮物、ふかし芋など	
11月	6日	干し柿作り	11/22 完成	<㊤/16・17日>
	6日	懐かしお菓子	千/おやつ：昔懐かしいお菓子&ふかし芋	<㊦/14・15日>
	26日	おやつイベント	おやつ：手作り菓子 (ほうじ茶プリンと塩ようかん2層仕立て) ㊤㊦/おやつ：セルクルケーキ（誕生者のみ）	たこ焼き
12月	誕生者 利用時	通所誕生会	㊤㊦/おやつ：セルクルケーキ（誕生者のみ）	
	22日	千寿苑クリスマス会	千/おやつ：家族会よりムースケーキの提供	<㊤/18・20日>
	22日	冬至	昼食：豚汁にかぼちゃ使用 おやつ：ケーキバイキング 夕食：エビピラフ他	<㊦/22・24日> クリスマスケーキ (和風ようかん ケーキ)
12月	25日	クリスマス	おやつ：ケーキバイキング 夕食：エビピラフ他	
	31日 (通所 29日)	大晦日	年越しそば他 ㊤㊦/おやつ：セルクルケーキ（誕生者のみ） 和え物や汁の具、煮物など	
12月	誕生者 利用時	通所誕生会	㊤㊦/おやつ：セルクルケーキ（誕生者のみ）	
	29日	収穫野菜の活用 (蕪, 里芋, 南瓜, 大根)	和え物や汁の具、煮物など	

月	日	行事	食事・おやつ内容	クッキング
1月	1日	正月	おせち、お雑煮他 おやつ：迎春お菓子	<㊤/21・22日>
	2日	正月	おせち、かす汁他 おやつ：紅白まんじゅう	
	3日	正月	寿膳他 おやつ：手作り甘酒ゼリー	<㊤/17・18日> ゆず甘酒かん
	4日	通所初め	昼食：赤飯、のし鶏他 おやつ：ねりきりバイキング	
	7日	七草	朝食：春の七草清汁	
	12日	百寿の祝い	㊤/和食御膳(炊き合わせ、ゆかり和え他)	
	20日	食事量調整	朝食量の調整、栄養価(ビタミン・ミネラル)調整	
誕生者 利用時	通所誕生会	㊤㊤/おやつ：セルクルケーキ (誕生者のみ)		
2月	3日	節分	おやつ：甘納豆(鬼・おかめの手作り箱に入れて)	<㊤/15・16日>
	14日	バレンタイン	昼食：クリーミーカレー、カップサラダ、いちご おやつ：ホットココアまたはチョコプリンのセレ クト ㊤/おやつ：保存食キャラメルパン&牛乳	
	21日	非常時備蓄品講座 誕生者 利用時	通所誕生会 ㊤㊤/おやつ：セルクルケーキ (誕生者のみ)	
3月	1日	ひなまつりランチ	昼食：ちらし寿司、かみつみれの清汁、ヨーグル トの桃添え おやつ：春色やわらか団子または桃色甘酒ゼリー	<㊤/20・22日> <㊤/26・27日> ぼたもち
	3日	桃の節句	おやつ：ひなあられ	
	21日	春分の日	おやつ：よもぎ団子	
	誕生者 利用時	通所誕生会	㊤㊤/おやつ：セルクルケーキ (誕生者のみ)	

## 平成30年度 行事食報告書③

※ 給食については、献立・栄養価・療養食・食材の活用(地産地消、苑菜園)など、随時調整し対応しています。

平成30年度は、安定してきた給食内容を基に、栄養管理(個々に合った食事の提供)を進めてきました。

食事摂取時の観察や多職種との意見交換を重視し、個人の栄養に関する課題を見つけ、課題改善に努めています。

課題に対する対応や摂食嚥下困難、摂取不良の方への個人対応も給食管理と多職種の連携にて、スムーズにおこなえるようになりました。

※ 「食べる楽しみ」「食べられる満足感」の気持ち向上、見た目の演出にも力を入れました。

※

※

※【食イベントの一例】

※

百寿のお祝い御膳

あしらいやカード飾りなど、  
栄養課で意見を出し合いなが  
ら、  
提供しています。



嚥下対応食

べたつきなく、飲み込みやす  
い  
ゼリーやムースを  
彩りよく盛りつけます。



おやつバイキング(敬老会)  
選ぶ楽しみがあります。



ひなまつりイベントのおやつ

「春色やわらか団子(左)」  
摂食機能に考慮した歯切れのよい団子で  
す。  
3色ご用意しました。

「桃色甘酒ゼリー(右)」  
当苑自慢の甘酒ゼリーを春らしく色づけま





### Ⅲ せんじゅ・なでしこ（デイサービス）

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 せんじゅ・なでしこ 1

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
① 地域一体での健康づくり	5月24日白馬町健老会（11名）と交流 6月21日あさひ幼保連携型認定こども園児（14名）と交流 8/24 にこにこ一座（15名）慰問 9/14 敬老会で菊水会（5名）慰問 10/23 あさひ子供園児（14名） 11/26 よるまい会若林（8名）慰問 2/20 グループデイ国分（18名）との交流会（体操） 3/14 七尾まだら伝承会慰問と千野町・八幡町の高齢者と交流会 毎回体操など筋肉づくりを行った	A	予定通り、健康づくりの機会を提供できている。  白馬町健老会との交流会は、昨年度先方の都合で見送りとなり、今回は藤サークル（5名）の慰問に合わせてご招待という形でお声掛けし、交流することができた。	年々参加者も高齢化しており、今後は先方へ出向いたり、OTの専門的な意見を取り入れたりして、楽しく体を動かすことを企画したい。
② 特色あるデイサービス作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別機能訓練加算算定開始</li> <li>せんじゅはほぼ全員</li> <li>なでしこは作業療法士勤務日に個別機能訓練加算Ⅱ算定開始し、畑や園芸・調理・個別ショッピングなどを行っている（11/6 3名）</li> <li>・認知症実践者研修・リーダー研修に参加（1名ずつ）</li> <li>・栄養スクリーニングを開始し、低栄養の方を栄養改善加算に繋げている</li> <li>・個別ドライブ（なでしこ6名）のと里山ミュージアム見学</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順調に加算算定できている</li> <li>・認知症実践者研修・リーダー研修に参加し、修得した内容を現場で生かしている</li> <li>・栄養スクリーニングを行い、栄養士と相談し、栄養介入につなげている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に訓練内容を見直し、ADL低下を予防し、よりよい在宅生活が送れるよう、継続していく</li> <li>・学んだ内容を他の職員に伝達し、更に他の職員も順次研修に参加していく</li> <li>・定期的にスクリーニングを行い、管理栄養士との連携を図っていく</li> </ul>

※評価について ⇒自己採点方式（100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下）

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 せんじゅ・なでしこ 2

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
③ 利用者増への取組み	<p>6/19 事業所見学会開催 (他機関 2 名・えんやま 4 名)</p> <p>施設見学・お試し利用を随時受け付け、新規利用に繋がっている</p> <p>12/26 事業所見学会開催 (他機関 5 名、えんやま 1 名)</p>	B	<p>・H30 年度介護報酬改定について、デイサービスでの現在の加算の状況説明をメインに、情報交換を行った。新規相談があれば積極的に受け入れている。入院や SS を想定し、どの曜日も定員以上の登録となっており、定員を超える日も出ている。</p> <p>機能訓練の様子や栄養改善計画までの流れを説明し、試食会も行った。</p>	<p>・参加いただいた事業所が 3 か所から 5 か所に増えた。今後も継続し、内容や時間帯などを工夫し、より多くの事業所に来苑の機会を提供していく。</p>
④ 職員も利用者様と一緒に筋肉を増やす	<p>外出レクリエーションに出かけ、楽しく歩く機会を提供</p> <p>日々のレクリエーションで体操や筋トレを多く取り入れるようにしている</p> <p>5/18・9/14 健康運動療法士をお招きし、家でもできる腰痛予防講習会を行った</p>	B	<p>・計画通り外出レクリエーションに出かけ、楽しく歩く機会を提供している</p> <p>・日々のレクリエーションで体操を多く取り入れている。</p> <p>・5/18 (金) 他部署の方々を含め、52 名の職員が参加した。</p> <p>・9/14 (金) 他部署の方々を含め、31 名の職員が参加した。</p>	<p>・利用者様の希望や状態に合わせ、今後もより多くの利用者様に参加いただけるよう工夫する。</p> <p>・マンネリ化した内容にならないように OT と相談し、新しい内容を取り入れていく</p> <p>・定期的に講演依頼し、生き生きと働けるように筋力をつけたい</p>

※評価について ⇒ 自己採点方式 (100 点満点で評価: A100 点~90 点、B89 点~75 点、C74 点~60 点、D60 点以下)

## 平成 30 年度 通所介護内部研修等実績

日 付	研 修 名 等	講 師	参加者数
5/18	腰痛知らずの身体になろう	地域交流ホール	18 名
5/31	虐待から見えてくること	地域交流ホール	20 名
7/24	高齢者の誤嚥・窒息に対する注意点	地域交流ホール	4 名
9/19	認知症について	デイルーム	11 名
9/26	腰痛予防講演	地域交流ホール	4 名
10/1	プライバシー保護について	休憩室	8 名
10/5	倫理・法令について	デイルーム	7 名
10/18	安全・安心に歩行補助用具を使用するために	デイルーム	7 名
10/23	適切な介助を目指して	デイルーム	19 名
10/30	感染対策の基本を学ぶ	デイルーム	21 名
11/9	人の体について	地域交流ホール	6 名
1/21	安全な介助を目指して	デイルーム	21 名
2/21	災害に備えて	地域交流ホール	18 名
3/10	みんなで考えましょう！人生の最終段階の生き方について	地域交流ホール	3 名

## 平成 30 年度ボランティア受入活動実績報告

活動日	ボランティア名 (団体・個人)	活動場所	活動内容	備 考
毎月第 1 (木)	土田 由紀子様	せんじゅ	ハーモニカ・紙しばい・体操	
5/8	七尾市レクリエーション協会様	せんじゅ	どじょうすくい・歌・体操	
5/24	藤サークル様	せんじゅ	舞踊・歌	
6/21	あさひ幼保連携型認定こども園様	なでしこ	歌と踊りの披露	
8/24	にこにこ一座様	なでしこ	歌謡・舞踊の披露	
9/12	七尾市レクリエーション協会様	せんじゅ	どじょうすくい・紙しばい・歌	
9/14	菊水会様	なでしこ	歌謡・舞踊の披露	
9/21. 25	在宅高齢者保健事業様 (敬老マッサージ)	せんじゅ なでしこ	利用者様へマッサージ	
10/23	あさひ幼保連携型認定こども園様	なでしこ	歌と踊りの披露	
11/26	よるまいかい若林様	せんじゅ	体操・ゲーム	
2/21	グループデイ国分様	せんじゅ	詩吟披露・体操・ゲーム	
3/14	七尾まだら伝承会様	なでしこ	七尾まだらの披露	

# 平成 30 年度年間行事等事業報告書

部署名： デイサービスセンター せんじゅ

月	事業(行事)	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯 桜餅作り		
5月	母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯 苺のお菓子作り		石川県生涯学習インストラクターの会 藤サークル
6月	新緑ドライブ (湖畔公園コサ) あじさい湯 よもぎ団子作り	一本松公園花壇花植え作業	事業所見学会(居宅介護支援事業所)
7月	七夕のつどい 笹の葉湯 水ようかん作り	千寿苑夏祭り	
8月	ひまわり湯 あんみつ作り		
9月	敬老会 ひまわり湯 あんみつ作り		石川県生涯学習インストラクターの会 在宅高齢者保健事業(マッサージ)
10月	のと里山里海ミュージアム見学 オリーブ湯 さつま芋のお菓子作り	徳田まつり	
11月	さざんか湯 たこ焼き作り		
12月	年忘れ会 ゆず湯 クリスマスケーキ作り		事業所見学会(居宅介護支援事業所)
1月	初詣 松湯 柚子のお菓子作り		
2月	梅湯 チョコレートのお菓子作り	グループデイ国分との交流会	
3月	菜の花湯	千野町・八幡町の高齢者をご招待	七尾まだら観賞会

# 平成 30 年度年間行事等事業報告書

部署名： デイサービスセンター なでしこ

月	事業（行事）	地域交流	ボランティア・見学
4月	お花見ドライブ 桜湯 桜餅作り		
5月	母の日カーネーションプレゼント しょうぶ湯 苺のお菓子作り	「元気かいね」白馬様との交流会	藤サークル慰問
6月	あじさい湯 よもぎ団子作り	一本松公園花壇花植え作業	あさひ幼保連携型認定こども園
7月	笹の葉湯 水ようかん作り 能登島ドライブ	千寿苑夏祭り	
8月	お涼み会 ひまわり湯 あんみつ作り		にこにこ一座慰問
9月	敬老会 敬老マッサージ りんどう湯 おはぎ作り 島津亜矢歌謡ショー参加	一本杉奉仕作業	菊水会慰問
10月	運動会 オリーブ湯 さつま芋のお菓子作り 百寿の祝い	徳田まつり	あさひ幼保連携型認定こども園
11月	のと里山ミュージアム 蘭の国ドライブ アルプラザ個別ショッピング さざんか湯 たこ焼き作り		
12月	年忘れ会 ゆず湯 クリスマスケーキ作り		華翔会
1月	初詣 松湯 柚子のお菓子作り 百寿の祝い		
2月	梅湯 チョコレートのお菓子作り 豆まき		
3月	770のひな人形展観覧 七尾まだら鑑賞会 菜の花湯 ぼたもち作り	千野町・八幡町の高齢者をご招待	七尾まだら伝承会



#### IV やくしの里（グループホーム）

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 グループホームやくしの里1

計画と方法・取組	1年間の具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>・楽しみのある食事と栄養を摂取することで健康な身体づくりを目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 花見 9名 やくしの里駐車場にて オードブルを食べながら花見。 小G旅行 4名 でか山作り見学後、 平和堂で昼食 小G旅行 4名 北国特選会見学後、 ナッピィモール内のうららで昼食</li> <li>・5月 小G旅行 4名 花嫁のれん館見学 後、八幡寿司で昼食</li> <li>・6月 私の一品 ゴンダ汁 (昼食) 小G旅行 1名 和倉温泉足湯後、 シャルバルベでおやつ</li> <li>・7月 水羊羹作り、土用の丑の日、千寿苑 夏祭り、コモド交流会</li> <li>・8月 流しそうめん 私の一品 かきもち作り(おやつ時) 小G旅行 1名 七尾美術館見学後、 ココスでおやつ</li> <li>・9月 お彼岸 (おはぎ作り) 南大吞地区敬老文化祭 9名</li> <li>・10月 コモドフェスタ 2名</li> <li>・11月 外食会 (はま寿司) 9名</li> <li>・12月 クリスマス会 柚子湯 年越しそば おせち料理作り</li> <li>・1月 おせち料理提供 七草がゆ</li> <li>・2月 節分 (恵方巻作り、豆まき) 災害時訓練と鍋パーティー</li> </ul>	<p><b>B</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小G旅行での個別の外出は、入居者の方々も外で食事をするを楽しまれ概ね好評だった。特に職員と入居者の方が1対1で外出する機会を作ることが出来たことが良かった。</li> <li>・普段の食事の他に行事食、季節よっての食材の提供が出来た。</li> <li>・私の一品では、入居者の方の食の思い出を聞くことで当時のことや思い出話を聞くことが出来た。</li> <li>・買物同行の際にフードコートでのおやつ。</li> <li>・ドライブで外出し、おやつ。</li> <li>・新規入居された方について、在宅時に比べ体重の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間 (半日・2時間) でも外に外出することで楽しみが持てるよう継続する。</li> <li>・特定の入居者に偏りが出ないようにお連れする。</li> <li>・行事食と普段の食事にメリハリをつける。</li> <li>・時季の料理、行事食についてマンネリにならないよう工夫する。</li> <li>・入居者の約半数がキザミ食の対応となってきたため、食べやすさを考えた食事の提供。</li> </ul>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価 : A100点~90点、B89点~75点、C74点~60点、D60点以下)

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

部署 グループホームやくしの里 2

計画と方法・取組	1年間の具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみのある食事と栄養を摂取することで健康な身体づくりを目指す</li> <li>・自分で出来ることは自分ですることで知らず知らずのうちに身体を動かす。また役割を持つことで生活に張りを持ち、生きがいを持つことで楽しみのある生活を送ることができる</li> <li>・職員の健康と仕事に対する意欲を増進させることで現在の人員を維持する</li> <li>・平成 30 年度介護報酬改定に対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月 ひな祭り会（昼食）お彼岸（おはぎ作り）</li> <li>・日常生活の中で役割を持って手伝いをして頂く。軽作業、茶碗拭き、テーブル拭きなど。</li> <li>・年間で職員 1 人当たり有給休暇を 10 日以上消化することを目指し、毎月連休が 2 回取得できる勤務体制を実施</li> <li>・職員が楽しく仕事ができるようにコミュニケーションを多くとり良好な関係を築くことで働くことに意欲がでる</li> <li>・グループ各部署と連携する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確に自分の役割として把握されている入居者の方もいれば、職員に促されて動いている方もおられる。</li> <li>・怪我や病気のため、ADLの低下。今まで出来ていたことが出来なくなった方もいた。</li> <li>・3連休を交替で取得し、また連休が2回取れるように勤務表を作成。1人あたり平均8日間の有給休暇取得。</li> <li>・申し送り、休憩時間、ミーティングで話し合いを行った。</li> <li>・栄養改善加算について、栄養士の方に来て頂くも取り組みに至らず。</li> <li>・入退院支援加算、身体拘束の廃止については実施。</li> <li>・生活機能向上連携加算は家族の考えとミスマッチで未実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日1回、役割を持って体を動かしていただけるよう当番制を行う。</li> <li>・個別の状態に合わせた取り組みを行う</li> <li>・1月に臨時職員1名が退職。働き方改革における年間5日以上の有給休暇消化を目標とする。</li> <li>・管理者と各職員で個別の面談を継続して実施する。</li> <li>・何が必要か見極め実施する。</li> </ul>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

## 平成 30 年度ボランティア受入活動実績報告

活動日	ボランティア名 (団体・個人)	活動場所	活動内容	備 考
4 月 22 日 (日)	八幡町ささゆり会様慰問	施設内	七尾まだら舞踊	
5 月 16 日 (水)	ここにこ一座	施設内	民謡・舞踊	
6 月 15 日 (金)	徳田の民話	施設内	話聞かせ	
8 月 8 日 (水)	木彫り教室	施設内	民生委員瀧川様	

## 平成 30 年度 事業所内研修実績

日 付	研 修 名	実施場所	参加者数
5 月 30 日	「虐待から見えてくること」	千寿苑	8 名
7 月 24 日	「高齢者の誤嚥・窒息に対する注意点」	千寿苑	4 名
10 月 23 日	「安楽な介助を目指して」	千寿苑	3 名
10 月 30 日	「感染対策の基本を学ぶ」	千寿苑	3 名
11 月 13 日	「救急講習 心肺蘇生法」	千寿苑	1 名
1 月 21 日	「安楽な介助を目指して」	千寿苑	2 名
2 月 21 日	「災害に備えて」	千寿苑	1 名

# 平成 30 年度年間行事等事業報告書

部署名： グループホーム やくしの里

月	事業(行事)計画	地域交流	ボランティア・見学
4月	3(水) 花見 やくしの里にて	13(日) 大泊朝市 15(日) 小G旅行(でか山作り 見学) 20(金) 小G旅行(北国特選会)	22(日) 八幡町ささゆり会 5名
5月	4(金) 青柏祭見物	30(水) 花嫁のれん館見学 大泊朝市は職員都合により中 止	16(水) 尺八民謡ボランティア (にこにこ一座)
6月	8・9(金・土) 菖蒲湯 24(日) 家族交流会(能登島) 30(土) 私の一品	10(日) 大泊朝市 12(火) 小G旅行 (和倉温泉足湯)	15(金) 徳田の民話 2名
7月	7(土) 七夕飾り作り 11(水) シェイクアウト訓練 15(日) 水羊羹作り 20(金) 土用の丑の日	8(日) 大泊朝市 12(木) コモド交流会	26(木) 千寿苑夏祭り見学
8月	3(金) 花火 9(木) 流しそうめん 30(木) 私の一品	8(水) 瀧川様木彫教室 23(木) 小G旅行・美術館見学	14(火) 大泊町納涼祭
9月	24(月) おはぎ作り	9(日) 大泊朝市 30(日) 南大呑地区敬老文化祭	
10月	7(日) 徳田祭り 10(水) 私の一品 ミニ運動会 25(木) お化粧品セラピー	6(土) コモドフェスタ 14(日) 大泊朝市 31(水) 小G旅行・蘭の国	6(土) 千寿苑獅子舞見学 13(土) 千寿苑獅子舞見学 28(日) 菊花展
11月	6(火) 絵葉書作り 7(水) 紅葉ドライブ 16(金) 外食会・はま寿司	11(日) 大泊朝市 22(木) のと里山里海ミュージ アム	1(木) 菊花展 11(日) 高階の太鼓
12月	9(日) クリスマス会 15(土) ケーキ作り 17・18 ゆず湯 31(月) 年越しそば	大泊朝市中止	
1月	1(火) おせち料理 2(水) 書初め、抹茶、正月遊 び	大泊朝市中止	
2月	7(月) 七草がゆ		
3月	3(日) 節分・恵方巻 26(火) 災害時訓練と鍋パーテ ィー	大泊朝市中止	

# 外部評価結果

(平成 30 年度)

## ① 事業者情報

名称 グループホーム やくしの里	種別 グループホーム
---------------------	---------------

## ② 総評 特に評価の高い点 (項目番号＝外部評価項目番号)

I.理念に基づく運営 II.安心と信頼の関係づくりと支援/項目番号(5)
■ 身体拘束廃止委員会を設け、マニュアルの再確認・事例検討等を通じ、職員への周知を図っている。スピーチロックに特化したチェックシートでの自己点検・アンケート集計を行い、より職員への意識付けを図っている。利用者に待っていただく場面では、言い方を工夫したり、具体的な理由を述べるように配慮している。
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント/項目番号(10)
■ ホームで楽しく暮らせるよう、利用者一人ひとりの「役割」「出来る事の継続」「健康管理」を重視した介護計画を作成し、日々の支援に繋げている。計画更新時は「生活に対する意向確認用紙」を家族に送付(返信用封筒同封)し、要望等を計画に反映している。担当職員の意見も踏まえてモニタリングを行い、計画の更新・見直しを行っている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援/項目番号(19)
■ 地域のスーパーで旬の食材を購入し、職員手作りの料理を提供している。家事が得意な方には下準備・調理・後片付け時に役割りを担ってもらっている。「食べる楽しみ」を大切にし、季節毎の行事食、おやつ・梅干し作り、小グループでの外食機会を設けている。

※弊社独自の評価票です。参考にして頂ければと思っております。

エイ・ワイ・エイ研究所

平成 30 年度

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1790200032		
法人名	社会福祉法人 緑会		
事業所名	グループホーム やくしの里		
所在地	石川県七尾市黒崎町ヲ部 109 番地		
自己評価作成日	平成 30 年 2 月 1 日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓この URL をクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	エイ・ワイ・エイ研究所		
所在地	石川県金沢市桂町ロ 45-1		
訪問調査日	平成 31 年 2 月 24 日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは七尾より氷見方面へ向かう国道 160 号線沿いの海と山に囲まれた自然豊かな場所にあり、現在では能越道大泊 IC に近く交通の便も良くなりました。春には敷地の隣にある桜が見え、ウグイスやキジの鳴き声が聞こえ、四季の移り変わりを楽しむことができます。キッチンオープン式対面キッチンで、入居者様が気軽にキッチンに立つことができ、中庭では畑で野菜づくりを行っています。入居者様全員での外出や季節ごとの行事を多く取り入れ、また個別の要望にもできる限り対応させていただき、お一人お一人が楽しみのある生活を送ることができるよう支援させていただいております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは法人理念「仁愛・信頼・貢献」のもと、ホーム独自の理念「利用者を個人として尊重し、その人らしい生活を支援します」や単年度の目標を掲げ、日々の実践に取り組んでいる。今年度は利用者の歩行能力を維持出来るよう『筋力をつくろう!』を目標として掲げ、運動・栄養・外出を重視した取り組みを行っている。母体の病院・特養施設をはじめとする法人全体の様々なバックアップ体制(健康管理、緊急時、終末期支援、災害時等)が確保されており、利用者・家族が安心出来る環境も整えられている。ホームでは家族との繋がりも大切にしており、毎月、文書で生活状況(食事・入浴・排泄・健康面)を伝えたり、2ヶ月毎にホーム便り(行事等の写真メイン)を送付している。介護計画にも家族の意見・要望を反映出来るよう、更新時には「生活に対する意向確認用紙」を送付(返信用封筒同封)している。地域とは住民の一員として町会に加入し、回覧版を活用してホームの活動・役割を周知している。公民館行事(敬老文化祭等)に参加したり、地域の催し物(隣町の朝市、盆踊り、祭礼行事等)にも出来るだけ参加している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~59で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
60	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	67	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
61	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,42)	○	1. 毎日ある	68	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
62	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:42)	○	1. ほぼ全ての利用者が	69	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
63	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:40,41)	○	1. ほぼ全ての利用者が	70	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
64	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:53)	○	1. ほぼ全ての利用者が	71	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
65	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	72	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
66	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人やグループホームの理念とは別に、職員全員で作成した現場の理念があり、事務室内に掲示し確認することで、職員が常に意識して実践に務められるようにしている	法人理念「仁愛・信頼・貢献」のもと、ホーム独自の理念「利用者を個人として尊重し、その人らしい生活を支援します」を掲げている。理念は玄関・事務所内の掲示やミーティング時の話し合いを通じ、職員への周知を図っている。又、単年度のホームの目標も掲げ、日々の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民の一員として町会費を納めている。地域の公民館行事に参加させていただき、隣町の朝市にも定期的に行き、馴染みになるよう努めている。散髪等で希望があれば地元の美容院を利用している。2ヶ月に1回やくしの里だよりを地元町会の回覧板に載せていただいている。地元の小学校、保育園は閉校となり交流はない	地域住民の一員として町会に加入し、回覧版を活用してホームの活動・役割を周知している。公民館行事（敬老文化祭等）に参加したり、地域の催し物（隣町の朝市、盆踊り、祭礼行事等）にも出来るだけ参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や地域行事に参加することで、町会長・民生委員などの地域の方々との交流を深め、理解に努めている。年に1回、グループの広報誌が地元の各世帯に配布されている。		

4	(3)	<p>○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族代表、町会長、民生委員、行政の方々にはホームの実態を報告しており、意見をいただき、今後の課題として取り組んでいる。</p>	<p>家族代表、民生委員、町会長、市担当者等をメンバーとし、年6回開催している。ホームの活動・行事報告だけでなく、参加者間で意見交換したり、地域の情報を収集する場ともなっている。議事録を全家族に送付し、話し合った内容を周知している。</p>	
5	(4)	<p>○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>月に一度開催される事業者連絡会にはほぼ参加している。運営推進会議は2ヶ月に1回行っており市の担当者の方と相談ができる関係作りができています。また、なにか連絡事項などあれば市より連絡が入る体制である。</p>	<p>運営推進会議や事業所連絡会での情報交換を通じ、市担当者との連携強化を図っている。分からない点があれば、気軽に行政に相談出来る関係を構築している。</p>	
6	(5)	<p>○身体拘束をしないケアの実践  代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>H30年度より身体拘束の適正化のため身体拘束委員会を設置。3カ月に1回実施している。チェックシートによる自己分析、事例を検討している。また母体である千寿苑にて勉強会開催に参加している。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設け、マニュアルの再確認・事例検討等を通じ、職員への周知を図っている。スピーチロックに特化したチェックシートでの自己点検・アンケート集計を行い、より職員への意識付けを図っている。利用者にとっていただく場面では、言い方を工夫したり、具体的な理由を述べるように配慮している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者より、月1回のミーティング時などに言葉遣いや接し方について説明している。入居者と家族、入居者と職員の関係には十分注意を払っている</p>		

8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>H29年に管理者が成年後見制度の講習に参加、他職員1名がH30年度に「身寄りのない方への支援を考える」研修会に参加。その都度ミーティングにて報告を行っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>以前は契約を自宅で行っていたが、最近の入居された方については「自宅に来てほしくない」または、「やくしの里で話を聞きたい」との理由で行わず。契約、解約について疑義の訴えはない。</p>		
10	(6)	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置しているが、周知不足か入居者・家族の方に投書はない。面会時や行事、認定調査にて直接話を伺い、現況についてや今後について相談しやすい体制としている。また、運営推進会議に家族の代表者に参加していただき、その他の会議参加者と共に事業所運営に反映できるように配慮している。</p>	<p>面会時やケアプラン更新時に家族の意見・要望を聴くようにしている。家族の意見・要望を引き出せるよう、生活状況（食事・入浴・排泄・健康面）に関する事を毎月文書で伝えたり、ホーム便り（2ヶ月毎：行事等の写真メイン）で暮らしぶりを伝えている。又、家族の本音を引き出せるよう、2年毎に無記名アンケートを実施している。</p>	
11	(7)	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者を中心とし、毎朝の申し送り時や月1回のミーティング時に意見交換を行っている。その中から緊急性の高い事項や、容易に取り組めるものなどはすぐに取り組み、職員のモチベーションを維持できるように留意している。また今年度より個人面談を半年に1回開催している。</p>	<p>管理者は意見・提案を言いやすい雰囲気を整え、職員個々の気づきを肯定的に受け止めている。毎日の申し送りや毎月のミーティング時に職員間で自由に意見交換出来る機会を設け、ホームの運営面（利用者支援、働きやすい職場づくり等）に反映している。又、個人面談（年2回）の中で、職員が普段言えない本音を聴く機会を設けている。</p>	

12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	H30年度の目標として「一人あたり有給休暇の10日消化」を掲げており、H31年1月現在で64日取得。平均8日となっている。年齢や体力に応じて夜勤回数の調整を行っている。		
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員に研修カードを配布し、自己研鑽を奨励している。法人内の講演会に参加し学習しているほか、研修案内を掲示することで希望者が受講している。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護保険事業者連絡会には参加しているが、ネットワークづくりや勉強会の開催には至っていない。また、相互訪問も行っていない。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談の段階で、本人や家族より十分に話を聴くようにしている。入居初期の段階では特に気を配り、信頼関係を築けるよう努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談や契約時にも十分話を聴き、利用中も本人・家族との関係を築きながら、本心が聞けるよう努めている。		

17		<p>○初期対応の見極めと支援サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初期利用の頃は、居宅の介護支援専門員に状況を報告し相談しながら対応している。また、入居前に本人・家族に面接し意向を確認している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>個人を尊重し、良い意味での家族のような関係に努めている。また、それぞれの方が役割（茶碗拭き・洗濯たたみ・調理の準備・盛り付けなど）を持つことで生活に張りがでるようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居されている家族の方で県外の方や血縁の薄い方がキーパーソンとなっている方が増えてきているため、毎月入居中のご様子を郵送にてお知らせしている。受診の付き添いを依頼したり少しでも関わりを持っていただいている。また、ホームでの行事参加（家族交流会・クリスマス会）ではキーパーソン以外の家族にも参加の依頼を行っている。以前に比べ参加者は増えている。</p>		

20	(8)	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援          本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の友人が面会に来ることもある。入居者の方の重度化と家族の高齢化により、以前外泊されていた方が出来なくなっている。そのため日帰りの外出となっている。手紙のやり取りや電話などの希望にも必要に応じ対応している。お彼岸での墓参りの声掛けを行っている。</p>	<p>馴染みの人間関係が継続出来るようホームでの面会を歓迎し、次にも繋がるように働きかけている。家族との繋がりが途切れないよう、行事を共に楽しむ機会を設けたり、お盆・お彼岸の時には外出・外泊を働きかけている。手紙や電話でのやりとりも支援している。又、行きつけの理美容院の継続利用やかかりつけ病院への受診、出身地域の祭礼見学等も支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援          利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>世話好きの入居者が、他の入居者の世話をすることがあり、その時は職員は見守りしている。トラブル時は双方に注意し、どちらの味方にならないようにしている。また、職員が間にに入り、難聴の入居者同士が話せるよう配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み          サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他の施設へ入居された本人への面会を行っている。退居時には家族に何かあれば相談させていただき旨お話ししている。</p>		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者本位での検討を前提としている。本人の性格やこれまでの生活歴を配慮することに努めている。その時・その日の要望については、対応できる時は即対応し出来ない場合は調整しできる限り対応できるよう努め、困難時は本人が納得できる理由を含め説明している。	普段の会話の中から、利用者個々の「思い」を把握するようにしている。利用者の「思い」（○を食べたい、○○に行きたい等）は、可能な限り実現するように努めている。控えめな方や意思疎通が難しい方には趣味・生活歴を考慮して職員側から働きかけ、思いを汲み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面接や契約時に情報収集し、入居後は本人との会話や家族からその都度聞きだし把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員の毎日の申し送りにて、個人の状況を把握し、できること等の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	見直し時には必ず本人と家族に要望を聞き、ミーティング時や日々の業務で発見したことを話し合い、反映できるよう努めている。また、本人の担当介護職員と介護支援専門員が話し合いをするようにしている。	ホームで楽しく暮らせるよう、利用者一人ひとりの「役割」「出来る事の継続」「健康管理」を重視した介護計画を作成し、日々の支援に繋げている。計画更新時は「生活に対する意向確認用紙」を家族に送付（返信用封筒同封）し、要望等を計画に反映している。担当職員の意見も踏まえてモニタリングを行い、計画の更新・見直しを行っている。	

27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や感情を具体的に記載しているが、十分に記載されていない時や同じような内容ばかりとなってしまうことがある。記録は介護計画見直しに活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が遠方で受診の付き添いができないときは、職員が対応している。理容店や買物、自宅への外出等、個人の対応に勤めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の居宅支援事業所の介護支援専門員や家族と情報の交換や報告を行ない、連携を図っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の往診や受診が継続的に行われている。また、入居者により、直接かかりつけ医への受診を希望される場合は対応している。	母体病院をかかりつけ医とし、訪問診療中心の健康管理体制を整えている。母体病院の医師とは24時間の連携（随時の相談、緊急時の往診）が確保されており、利用者・家族・職員の安心に繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師1名がおり、申し送り時に入居者の体調を報告している。入居者の体調に変化があるときは医師への上申を行っている。		

32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医師、相談員、看護師などと十分に連携を図っている。管理者が直接病院に訪問することで状態の確認を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアの実績はなし。重度化、もしくは終末期に関しては法人全体でサポートする形となっていることを入居時に説明している。身体状況変化時には本人・家族の意向を伺い、管理者、医師、家族を交えて方針を検討している。	終末期は母体の病院・特養施設で対応する方針となっており、予め家族に説明し同意を得ている。利用者の状態変化に応じて三者（医師、家族、職員）で話し合い、今後の方向性を確認している。ホームで出来る事・出来ない事を説明し、可能な限りの重度化支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	スタッフミーティング時に、対応の訓練を行っている。また、実際に急変や事故が発生した後で職員同士で意見の交換を行ない以後の対応についての知識の習得に努めている。		
35	(13)	○緊急時等の対応 けが、転倒、窒息、意識不明、行方不明等の緊急事態に対応する体制が整備されている	マニュアルを作成し、連絡体制ができていて、事故発生時の役割分担を取り決めてある。以前に比べ施設近隣に居住する職員の数が減ったため夜間の駆けつけに問題がある。	急変時の対応マニュアルや母体病院への連絡・相談体制を整えている。法人内の救命講習に全職員が参加し、緊急時対応のスキルアップを図っている。	
36	(14)	○バックアップ機関の充実 協力医療機関や介護老人福祉施設等のバックアップ機関との間で、支援体制が確保されている	円山病院、えんやま健康クリニック、千寿苑と支援体制をとっている。	母体病院・特養施設をはじめとする法人全体の十分なバックアップ体制が確保されている。	

37	(15)	○夜間及び深夜における勤務体制 夜間及び深夜における勤務体制が、緊急時に対応したものとなっている	近隣に居住する職員が1名であり、他の職員の居住地も駆けつけるのに20分以上かかるため緊急時の対応が遅れる要因となっている。	1ユニット＝夜間帯は職員1名体制となっているが、母体病院への相談体制や緊急連絡網による応援体制を整えている。	近隣在住のホーム職員が1名の為、近隣地域に在住している法人職員全体の応援体制の整備が期待される。
38	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、ホームで避難訓練を実施している。地域自体が高齢化のため協力体制を築くことより法人全体での支援体制を整えている。昨年の断水では飲料水などの運搬。入浴場所を提供してもらっている。	防災マニュアルを整え、年2回（夜間想定含む）、火災想定中心の総合避難訓練を実施している。内1回は消防立ち会いのもとで訓練を行い、専門家の総評・助言を今後活かしている。母体の特養施設との連携体制を整え、昨年の断水時にも様々なサポートが得られている。防災グッズや備蓄品はリスト化し、適切に保管・点検している。	事業所周围の立地条件等を勘察し、近隣の他法人事業所（小規模多機能施設）との連携体制の推進が期待される。
39	(17)	○災害対策 災害時の利用者の安全確保のための体制が整備されている	避難時の荷物を整備している。また、水・紙類・毛布・オムツ類の備蓄があり、スプリンクラー・火災報知機・通報装置の設備を完備している。停電時に炊飯できるようカセットコンロを準備。同法人内の連絡体制も整えている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
40	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応に配慮している。ミーティング時などに皆で注意しあい、話し合いを行っているが、出来ていない職員もみられる。	「個人の尊重」をホーム理念にも掲げ、利用者一人ひとりの性格・プライド等に応じた言葉遣いを心掛けている。年配者に対し、名字で「〇〇さん」と呼びしている。又、トイレ・入浴時は羞恥心に配慮したり、申し送りは事務所内で行う等、プライバシーについても注意を払っている。	

41		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるようなオープンクエスチョンやこまめな声掛けに努めている。		
42		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時の思いや体調、本人のペースに合わせて自由に活動しているが、居室で休んでばかりにならないよう声掛けしている。		
43		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みのある美容院がある入居者には家族の協力にて利用されたり、近隣の美容院を利用している。本人の希望があれば、ホームで散髪する方もおいでる。お化粧品セラピーを行っている。		
44	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みは個々に合わせ形態も状態に合わせている。行事食（正月のおせち・七草・恵方巻・お彼岸・ひな祭り・土用の丑の日・ながし素麺・外食会・クリスマス会・年越しそば）やホームで採れた野菜、朝市などで購入した新鮮な魚を提供しており、普段とは違うたのしみのある食事を提供している。30年度は「私の一品」という入居者の方の思い出の料理を聞き取り一緒に調理したりしている。	地域のスーパーで旬の食材を購入し、職員手作りの料理を提供している。家事が得意な方には下準備・調理・後片付け時に役割りを担ってもらっている。「食べる楽しみ」を大切に、季節毎の行事食、おやつ・梅干し作り、小グループでの外食機会を設けている。	

45		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は献立表を確認し、同じ食材やメニューにならないよう配慮している。定期的に千寿苑の管理栄養士に提供メニューのチェックを依頼している。水分は出来る限り摂っていただけるようメニュー表から好きな水分を選んでいただき、その時に飲みたいものを提供している。		
46		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人声掛けし口腔ケアを実施している。義歯の洗い残しがある方は後で職員が洗いなおし対応している。		
47	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介助を要する入居者には排泄表に記録し、リズムや行動を把握し適宜誘導を行なっている。また日中は必ずトイレにて排泄を行なっている。ポータブルトイレは現在は使用していない。	日中は「トイレでの排泄」を基本としている。オムツ使用者でも、可能な限りトイレで排泄出来るように支援している。誘導が必要な場合は個々の排泄間隔・サイン（ソワソワする等）を把握し、適宜お誘いの声をかけている。	
48		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜中心の食生活を目標（特に朝食）とし、牛乳の提供や便秘気味の方には朝の汁物に食物繊維を入れ、水分と運動を促している。		

49	(21)	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>週に2回の入浴日としているが、入浴日は4日間設けており当日の体調や気分に合わせているため、入浴の曜日は決めていない。現在、毎回入浴されている方はいない。個人対応することを基本とし、医師からの指示がない方に対してはゆっくり時間をかけて入浴している。入浴剤の使用や季節に応じて菖蒲湯、柚子湯を提供している。</p>	<p>週に4日お風呂を沸かし、利用者個々の要望（順番、湯に浸かる時間、自分専用の物品使用等）に沿った入浴を支援している。お湯の変化を楽しめるよう数種類の入浴剤を用いたり、昔ならがの季節湯を行っている。入浴を拒む場合は無理強いせず、別の日に改めてお誘いしている。</p>	
50		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>自室、リビング、畳、ソファなど本人が居たい場所、休みたいところでそれぞれ自由に過ごせるようにしている。</p>		
51		<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服は職員が管理している。服薬時は必ず確認しており、チェック表にて誰が介助したかチェックしている。また、個人ファイルに薬剤カードを綴っており、いつでも見れるようになっている。内服変更時は申し送り及び、往診ノートに記入、各自確認して症状の変化に注意している。</p>		
52		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個人の性格や生活歴を踏まえ、個々にあった役割を支援している。また、担当職員による本人の希望に沿った外出や買物の援助を行っている。今年度は小グループ旅行など少人数での外出を支援している。</p>		

53	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者全員の外出希望は把握できていないが、小グループ旅行や行事、買物への同行などで外出する機会を増やしている。地域の盆踊り、地域行事の参加を行っている。お彼岸には家族との繋がりを持っていただくために墓参りへの協力をお願いしている。	散歩、日向ぼっこ、畑仕事等、日常的な外出を支援している。又、利用者の笑顔を引き出せるよう、気軽なドライブや季節感を味わう外出（桜花見、紅葉狩り、植物園、花嫁のれん・祭礼見学等）も支援している。	
54		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で管理されている方は現在はおいでない。小額のみ個人で持たれている方がいるが使用しておらず、お小遣い帳にてホームで管理している。買物時本人より希望されるお菓子、果物、パン、消耗品を同行で買物したりしている。		
55		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望で電話することもあるが、「家族より電話させないでほしい」と要望される方があり調整している。家族からの電話には直接話ができる方はしていただき、難聴の方には職員が間に入ることでやりとりを行っている。		
56	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季を感じていただけるよう、玄関に季節に応じた花や飾りつけを行っている。天気の良い日はウッドデッキにて日向ぼっこを行っている。	日当たりの良いリビングから自然の風景（山の景色、畑の様子等）が眺められ、季節感を十分に味わう事が出来る。リビング以外にも腰掛けられる場所を設け、仲の良い人同士で過ごせる空間を確保している。ウッドデッキは天気が良い時期に、日向ぼっこを楽しむ場所として有効活用している。	

57		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用スペースと居室は別であり、プライバシーには配慮されている。気の合う入居者の方は居室に訪問し談笑されている。</p>		
58	(24)	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に馴染みの物をお願いしているが、家族の思いで持ち込まれない方や、本人が外してしまうため設置していない居室もある。本人の動線を配慮し配置に努めている。希望する方には畳を設置していた。</p>	<p>各居室はリビングと離れた場所に位置しており、プライバシーが保てる造りとなっている。居心地良く過ごせるよう、入居時に使い慣れた物（テレビ、タンス等）や安心出来る物（家族の写真、趣味道具等）を持ちこんでもらっている。希望者にはホーム側で畳を提供している。</p>	
59		<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>現在居室の入り口に名札を掲示している。居室が分からない入居者の方がおいでするため。職員の呼び出しコールについて、理解のできない方には安全に配慮している。また転倒の危険がある方には予防センサーを設置している。</p>		



## V たかしなの里（小規模多機能型居宅介護施設）

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

## 部署 小規模多機能型居宅介護施設たかしの里

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>地域とのつながりとご家族様との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様が住み慣れた地域で、今までと同じように安心して楽しく生活しているようにお出掛けや地域の行事に積極的に参加や見学に行く。</li> <li>交流会や満足度調査、日々の会話・連絡を通じて、ご家族様との連携を図る。</li> </ul>	<p>地区敬老会や地区の行事に見学や参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のお寺にお参りにいたり、また住職に施設に来ていただく。</li> <li>家族交流会や家族との意見交換会を実施する。</li> <li>地域の老人会を招待してゲームなどで交流する。</li> <li>地区老人会で健康教室を実施する</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>お花見ドライブ（小丸山公園） 4/7 4/9</li> <li>青柏祭見学（灘方面ドライブ） 5/4</li> <li>朝日小学校運動会見学 5/26</li> <li>お寺参り（安浄寺） 4/20</li> <li>地区敬老会の参加 6/3</li> <li>高階地区体育レクリエーション大会見学 6/17</li> <li>客船にっぽん丸見学 6/23 6/26</li> <li>お寺参り（安浄寺） 7/11</li> <li>家族交流会・意見交換会 8/11</li> <li>高階まつり見学 8/19</li> <li>足湯と和倉温泉周遊ドライブ 9/15</li> <li>ボランティア北川歩美さんマジックショー 9/24</li> <li>満足度調査の実施</li> <li>10月地区用広報誌発行</li> <li>徳田まつり見学 10/7</li> <li>池崎町秋祭り 10/7</li> <li>安浄寺お参り 10/19</li> <li>高階とどろけ太鼓見学 11/11</li> <li>高階ふれあい交流会参加 11/14</li> <li>ここにこ一座 12/5</li> <li>ゆず湯 12/21・22</li> <li>クリスマス会 12/25</li> <li>餅つき 12/28</li> <li>法話（安浄寺住職） 1/18</li> <li>華翔会歌謡舞踊ショー 2/9</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地域行事への見学や参加</li> <li>地区老人会との交流</li> </ul>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

# 平成 30 年度目標に対する自己評価

## 部署 小規模多機能型居宅介護施設たかしの里

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
サルコペニア予防・フレイル(虚弱)予防 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養、身体活動、社会活動を通してご利用者様の『生活の質』を守り、生き生きと過ごしていただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々の日課を見直して筋肉アップ体操の時間を増やす。</li> <li>・ 歩行訓練、いきいき体操、百歳体操</li> <li>・ 栄養バランスの取れた食事の提供 低栄養状態の利用者様に関しては主治医、家族と連携して対応する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週月、火、水に 100 歳体操の実施</li> <li>・ 日々の歩行訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続して実施</li> </ul>
業務のスマート化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員が、気持ちよく仕事に集中できるよう、業務の改善をおこなう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休憩時間はしっかり取れるようにし、メリハリをつける。</li> <li>・ ICT を活用し、記録や報告書の簡素化を図る。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一部記録の簡素化は出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソフトを少しずつ取り入れていき実施していく。</li> </ul>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

# 平成 30 年度年間行事等事業実施報告

たかしなの里

月	事業（行事）	地域交流・ボランティア	見学対応・職員研修
4月	お花見ドライブ 避難訓練（夜間）	安浄寺お参り	
5月	新緑ドライブ		青柏祭 朝日小学校運動会
6月	蕨狩り 菖蒲湯	高階地区敬老会	高階地区体育レクリエーション大会 客船「にっぽん丸」
7月	七夕まつり シェイクアウト	安浄寺お参り	輝関千寿苑来苑
8月	家族交流会（意見交換会）	高階まつり参加	
9月	足湯と和倉温泉周遊ドライブ おはぎ作り 北川歩美マジックショー		
10月	地区用広報誌発行 避難訓練（日中）	池崎町秋の大祭 安浄寺お参り	秋のビオラとバイオリンコンサート 徳田まつり 客船「飛鳥Ⅱ」
11月	紅葉ドライブ		
12月	ゆず湯 クリスマス会 餅つき		
1月	法話（安浄寺住職）		
2月	節分		
3月	おはぎ作り		

平成 30 年度 事業所内研修実績

日 付	研 修 名	実施場所	参加者数
4 月 16 日	人権・職員倫理規程職員倫理規定に基づく行動指針	たかしなの里	9
5 月 30 日	虐待から見えてくること	千寿苑	8
6 月 21 日	小規模多機能型居宅介護施設での感染管理	たかしなの里	14
7 月 24 日	高齢者の「誤嚥・窒息」に対する注意点	千寿苑	3
9 月 18 日	認知症講座について	デイケアすこやか	6
10 月 22 日	適切な介助を目指して	千寿苑	3
10 月 31 日	感染症について（手指衛生）	千寿苑	3
11 月 9 日	人体の基礎知識について	千寿苑	8
12 月 20 日	施設における感染症の予防と対策について	たかしなの里	14
1 月 22 日	安楽な介助を目指して ベット編	千寿苑	3

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 緑会	代表者	円山 寛人	法人・事業所の特徴	法人の理念「仁愛・信頼・貢献」を基に利用者個々の「思い」や生活ペース、家族、地域との繋がりを大切にした支援に取り組んでいる。複数の看護職員の配置に加え、母体（医療法人や社会福祉法人）の充実したバックアップ体制があり、利用者・家族の安心に繋がっている。
事業所名	たかしなの里	管理者	円山 徹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	3人	0人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	住み慣れた地域での生活が今まで通り継続できるよう、自宅での過ごし方に目を向け、地域での関わりをもっと知って支援する。	すべての利用者様に対し今までの暮らし方や「～したい」について職員間で情報共有が不足していた。	「共有する」が言葉だけになっているのでは。	ご利用者様お一人おひとりがこの住み慣れた地域での暮らしに今まで通り楽しく過ごしていただけるよう、ミーティングを増やし、職員が同じ考えで支援出来るように取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方たちが気軽に立ち寄り、なんでも相談できる施設となる。	イベント等に地域住民を招待し、利用者様と一緒に楽しんで頂いたが、施設内での行事が多く誰もが気軽に立ち入って貰える環境ではなかった。	施設での活動内容をもっとアピールする必要があるのでは。	施設を開放して家族や地域の方など多くの方々に来て頂けるような行事の開催と施設内での出来事などをコミュニケーションアプリ LINE の活用を通して、施設を知っていただく様にする。
C. 事業所と地域のかかわり	広報誌の発行や地域に出向き広報活動を行う。	地域に向けた広報誌を発行し、施設でのサービス内容や取り組みや1日の過ごし方など紹介することが出来た。職員が地域行事に関わり地域の各委員と連携している。	送迎時、通行を妨げないよう駐車してほしい。 地域の行事に積極的に協力してもらったり、施設利用者にも参加して頂いている。	地域の方々や運営推進委員、ご家族様の意見を聞き、ひとつずつ地域に貢献できるよう取り組んでいく。

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	積極的に地域に出向き利用者の地域での暮らしを支える。地域福祉委員や民生委員との連携を図る。	地域での行事やイベントを始め、お寺参りや四季折々のドライブなど多く執り行いご利用者様に楽しんで頂けた。	カフェや地域行事に参加することで、本人が一人で行けない（参加できない）所に行けることはすごく刺激的であるため良いと思う。継続してほしい。 一人暮らしをされている方が家に帰ってからの時間、周りの協力が本当に必要だと思う。でもずっと見守っていることは不可能。	生活歴や自宅での過ごし方を出来るだけ把握し、職員間はもとより地域との連携を図り、ご利用者様お一人おひとりの思いに寄り添った支援が出来るよう取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議や家族交流会で出た意見をスタッフで協議をして改善していく。 満足度調査を継続実施し、ご家族の意見を反映させる	家族交流会や満足度調査を実施し職員間で協議を行ったが、ご利用者ご家族様に結果内容や改善計画を開示しなかった。	地域のコミュニティセンターや民生委員、町会長を交えた会議の為、情報の共有が出来ている。	運営推進委員にもっと施設内を見ていただき、意見や知恵をいただくようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	避難訓練の流れや実際に行った結果内容について、運営推進会議で詳細に報告し検討する。	訓練は、同じパターンで行っており、緊張感がなかった。	運営推進委員のメンバーは、直接参加していないので、よくわからない。 災害時は施設を開放して支援してほしい。	防災訓練に、地域の方々にもっと参加していただき、意見をいただきながら安全安心な施設作りに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・島山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	11人	3人	人	15人

前回の改善計画	ご利用者と寄り添う時間を意識して持ち、気づきや情報をスタッフ全員で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・気づきについては、ご利用者様によってばらつきがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3人	12人	1人	人	16人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1人	13人	2人	人	16人
③	本人がまだ慣れない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか？	4人	10人	2人	人	16人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1人	11人	4人	人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての利用者様の情報（カンファレンスや介護計画書）が職員掲示板に掲載されているので事前に利用者様の状況が共有できる。</li> <li>初回利用時にはご本人やご家族様とコミュニケーションを図り不安を和らげるよう努めている。</li> <li>上手く対応が出来ている職員の手法を真似て信頼関係を築くよう努めている。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>初期ご利用後の状況は口頭で申し送りされているが、支援経過記録は不足している。</li> <li>利用者様同士の会話の繋がりが出来ていない。</li> <li>声掛けをして得た情報を記録していないため覚えていないことがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者様の気づきや得た情報を記録に残す。</li> <li>ご利用者様の生活歴を再確認し情報共有をしっかりと取る。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・畠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	9人	5人	0人	14人

前回の改善計画	・ご利用者の思いを聞き出し、可能な限り実現できるよう取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご利用者の思いを聞き出し、可能な限り実現できるよう取り組む。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標（ゴール）」が分かっていますか？	1人	8人	5人	1人	15人
②	本人の当面の目標「～したい」が分かっていますか？	2人	10人	4人	0人	16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0人	12人	4人	0人	16人
④	実践した（めわった）内容をミーティングで発言し、振り返り次の対応に活かしていますか？	0人	10人	6人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日モニタリングを実施しご利用者様の目標に添った支援が行われているか把握している。</li> <li>・毎月サービス利用票に押印頂く際にご家族様の希望を聴くよう努めている。</li> <li>・利用目的を把握する努力をしたり、一緒に励まし支援している。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様お一人お一人の「～したい」を明確に把握できていない。</li> <li>・支援方法が統一されておらず職員によって対応が異なった。</li> <li>・担当職員性が活かされずご利用者様の個別性の理解が乏しかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員性を活かして本人の目標が叶えられるよう努力する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

3. 日常生活の支援

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・畠山

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	4人	1人	15人

前回の改善計画  
 ・ご利用者ご家族との会話などを通じて生活歴を再度見直す。そこからケアプランの目標につなげられる内容を検討する。

前回の改善計画に対する取り組み結果  
 ・生活歴の把握が不十分でありご本人の思いの把握が出来ているのか分からない事がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	5人	10人	1人	16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	12人	0人	0人	16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0人	9人	6人	1人	16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4人	11人	1人	0人	16人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5人	9人	1人	0人	15人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・ご利用者様とのコミュニケーションを通して気持ちや体調の変化を敏感に察知するよう努めている。  
 ・ご本人やご家族様の立場に立って尊厳を保持するよう努めている。  
 ・職員同士の会話や朝の申し送りの中で得た知識を実践に繋げている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・ご利用者様個々の「以前の暮らし方」を把握できていない。  
 ・変化に気づいた時の状況や兆候の記録が不足しているため、大切な情報が共有されていない。  
 ・自分の気持ちをうまく伝えられないご利用者様を観察したり声掛けをしても把握出来ないことがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字程度)  
 ・ご利用者様が話しやすい信頼関係を作る。(敬意を持った接し方をする。)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・畠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	2人	0人	13人

前回の改善計画	・住み慣れた地域での生活が今まで通り継続できるよう、自宅での過ごし方にもっと目をむけたり地域との関りなどを知って支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・今までの生活歴をしっかりと把握したり共有が出来ていないため、より深い支援が出来ているか分からない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等理解していますか?	0人	13人	3人	0人	16人
②	本人と、家族、介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか?	0人	14人	2人	0人	16人
③	事業所が直接接していない時間、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	8人	8人	0人	16人
④	本人の今の生活に必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	5人	8人	2人	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る限りご家族様と会話をし、情報を収集している。</li> <li>・小学校の運動会や敬老会など地域の行事に見学や参加をしたり、周辺のイベントの見学も行った。</li> <li>・施設で演芸などイベントがある場合には、地域の方を招待し一緒に見て楽しんだりお茶を飲んだりして交流をした。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での生活状況を訪問時確認しているが、すべて把握できていない。また職員間での情報共有が不足していた。</li> <li>・すべてのご利用者様に対し今までの暮らし方について理解不足であった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活歴や自宅での過ごし方を出来るだけ把握し、スタッフが共有することで支援に繋げる。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・畠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	9人	0人	0人	15人

前回の改善計画	・ご利用者の取り巻く状況に合わせて、「通い」「訪問」「泊り」サービスを柔軟に対応していく。 ・訪問回数を増やし、今まで以上に支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・細い訪問を増やすなど、ご家族様のニーズに応じて「通い」「訪問」「泊り」のプランを考え提供されている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3人	10人	1人	0人	14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7人	8人	0人	0人	15人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8人	6人	2人	0人	16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5人	10人	1人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調面で不安を感じる時、自然災害の危険を感じられる時は柔軟なサービスを追加し対応している。 ・細かい訪問を増やすなど、ご家族様のニーズに応じて「通い」「訪問」「泊り」のプランを考え提供されている。 ・一人暮らしのご利用者様で状態に変化があった時は、ご家族様への報告・相談やご利用の変更が出来ていた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・口頭での申し送りは出来ているが、変化に気づいた時の状況や具体的な状況の記録が不足している。 ・職員間での情報共有不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
・利用者様の「～したい」に答えていく。 ・サービスの必要性を共有理解し支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

6. 連携・協働

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・畠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	4人	0人	15人

前回の改善計画  
・地域の方たちに気軽に立ち寄って貰える施設作りをする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・演芸など施設にイベントがあった時は、地域の方を招待しているが、個人ではなかなか立ち寄って貰えていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	3人	6人	1人	1人	11人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人	5人	4人	2人	12人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消火団等）の活動やイベントに参加していますか?	5人	7人	2人	0人	14人
④	登録者以外の高齢者や子供等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	9人	4人	0人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・ご利用者様の症状変化があった時には医療機関と連携し対応が出来る。  
・地域コミュニティーセンターへの取り組みに協力し、会議にも参加している。  
・施設でのイベントで地域の方を招待をして一緒に楽しんでいただいている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること  
・登録者以外の高齢者や子供たちは、なかなか個人で訪れることはない。  
・いつも施設内で行事を行っていて、近所の人が訪れやすい環境になっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字程度)  
・オープンカフェを開いたり天気の良い日のお散歩や日光浴などで表に出る機会を増やし、地域との交流を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

7. 運営

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・畠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	0人	2人	14人

前回の改善計画  
 ・家族交流会や満足度調査をして、ご家族の意見を運営に反映させる。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 ・家族交流会でご家族様や地域の方との意見交換会を行った。  
 ・満足度調査を実施し職員間で検閲周知した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0人	9人	3人	2人	14人
②	利用者、家族、介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	13人	1人	1人	15人
③	地域の方から意見や苦情を運営に反映していますか?	0人	12人	0人	1人	13人
④	地域が必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行なっていますか?	0人	10人	2人	2人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・相談や苦情・意見等はその都度話し合ったり、月1回の職員会議等で統一した支援を行っている。  
 ・地区コミュニティセンターで取り組んでいる認知症カフェの送迎を行っている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・管理者・計画作成者に任せてしまっている。  
 ・苦情受付書や意見を検討したことをご利用者様ご家族様へ開示していない。

次回までの具体的な改善計画 (200字程度)  
 ・地区コミュニティセンターで企画している認知症カフェへの協力をしていく。  
 ・ご利用者様ご家族様が苦情や意見の言いやすい環境作りと反映できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・畠山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	4人	2人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修会にスタッフ全員が最低年一度は受講する。</li> <li>・月に一度は内部研修会を実施する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修の受講計画に対し、取り組みが遅かった。</li> <li>・内部研修の年間計画が無く、その都度行ったため出来ない月があった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3人	5人	3人	4人	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修会に参加できていますか	0人	10人	3人	3人	16人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	4人	1人	8人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	8人	1人	4人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得やスキルアップが出来るように全職員全員が外部研修を受講した。</li> <li>・月1度の内部研修会は、その時期（季節）に関わる勉強会を実施した。</li> </ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パート職員は時間を調整するのが難しく、研修会が定期的に出来なかった。</li> <li>・研修計画の取り決めがやや曖昧だったため、計画が遅れが出た。</li> <li>・研修参加やスキルアップに関してはスタッフの考えや意識の差もあり個人差が大きい。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り、全員が外部研修に参加出来るようにする。</li> <li>・リスクマネジメントについて月1回の定例会議で情報共有や方針を検討する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年2月25日～3月8日

9. 人権・プライバシー

メンバー 圓山・辻・白山・守山・萩原・稲本・岡田・寺田・岡野  
岡村・本田・村山・中山・北川・北村・島山

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	4人	0人	16人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・成年後見人制度の勉強会は実施しなかった。</li><li>・スタッフ同士の会話の仕方に気をつける。</li><li>・敬意を持った話しかけを心がける。</li></ul>
前回の改善計画に対する取り組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・成年後見人制度の勉強会を実施する。</li><li>・スタッフ同士の会話では、ややご利用者様の前で気を使わないところがあった。</li><li>・全職員が敬意をもって話しかけをしていた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9人	7人	0人	0人	16人
②	虐待は行われていない	12人	1人	0人	0人	13人
③	プライバシーが守られている	7人	9人	0人	0人	16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0人	4人	3人	2人	9人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3人	13人	0人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・身体拘束・虐待は行っていない。</li><li>・スタッフ同士の会話やご利用者様に対しての会話に気をつけ、敬意を持った話しかけが出来ている。</li><li>・ご利用者様個人の事は、出来るだけ筆談や耳元で話すようにしている。</li><li>・個人情報記載された書類の廃棄時はシュレッダー処理している。</li></ul>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の体が対応出来ない時スピーチロック（待って！ダメ！）することがあった。</li><li>・職員のペースでご利用者様のお世話をすることがあった。</li><li>・成年後見人については該当者がいないため適用していない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字程度)
<ul style="list-style-type: none"><li>・フロアやご利用者様の前でスタッフ同士の会話に気をつける。</li><li>・敬意を持った接し方を心がける。</li></ul>	